

麻布大学 2022 年 第Ⅱ期

1 【麻布大学 2022 年度 第Ⅱ期】大問1

以下の問いに答えよ。

- (1) a を定数とする。放物線 $y = x^2 + (2a + 9)x + a^2 + 12a + 11$ の頂点の座標は

$$\left(-\frac{\boxed{\text{ア}}a + \boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}, \frac{\boxed{\text{エオ}}a - \boxed{\text{カキ}}}{\boxed{\text{ク}}} \right)$$

である。また、この放物線が x 軸から切り取ってできる線分の長さが $\sqrt{2}$ となる a の値は $a = \frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サシ}}}$ である。

- (2) ある等差数列の初項から第 n 項までの和は $4n^2 - 3n$ で表される。この等差数列の初項は $\boxed{\text{ス}}$ 、公差は $\boxed{\text{セ}}$ である。
- (3) $0^\circ < \theta < 90^\circ$ とする。

$$\tan \theta + \frac{1}{\tan \theta} = \frac{\boxed{\text{ソ}}}{\sin \boxed{\text{タ}} \theta}, \quad \tan \theta - \frac{1}{\tan \theta} = \frac{\boxed{\text{チツ}} \cos \boxed{\text{テ}} \theta}{\sin \boxed{\text{ト}} \theta}$$

であることから $\tan 15^\circ = \boxed{\text{ナ}} - \sqrt{\boxed{\text{ニ}}}$ となる。

- (4) 関数 $f(x) = x^3 - 6x^2 + 5$ のグラフ上の点 $(-1, -2)$ における接線の方程式は

$$y = \boxed{\text{ヌネ}}x + \boxed{\text{ノハ}}$$

である。また、関数 $f(x)$ の極大値は $\boxed{\text{ヒ}}$ であり、極小値は $\boxed{\text{フヘホ}}$ である。

- (5) 30 本のくじの中に当たりくじが 6 本入っている。このくじを同時に 3 本引くとき当たりくじがちょうど 2 本入って

いる確率は $\frac{\boxed{\text{マミ}}}{\boxed{\text{ムメモ}}}$ である。

- (6) $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{2}$ を満たす整数 $x, y (x \neq 0, y \neq 0)$ について $(x-2)(y-2) = \boxed{\text{ヤ}}$ が成り立つ。したがって、 $x+2y$ の最大値は $\boxed{\text{ユヨ}}$ である。

2 【麻布大学 2022 年度 第Ⅱ期】大問2

ある整式 $P(x)$ がある。 $P(x)$ を $x^2 - 3x + 2$ で割った余りは $6x + 1$ であり、 $x^2 - 5x + 6$ で割った余りは $2x + a$ であるという (a は定数)。次の問いに答えよ。

- (1) $a = \boxed{\quad}$ である。
- (2) $P(x)$ を $x^2 - 4x + 3$ で割った余りは、 $\boxed{\quad}x + \boxed{\quad}$ である。
- (3) $P(x)$ を $x^3 - 6x^2 + 11x - 6$ で割った余りは、 $\boxed{\quad}x^2 + \boxed{\quad}x - \boxed{\quad}$ である。

麻布大学 2022 年 第Ⅱ期

3 【麻布大学 2022 年度 第Ⅱ期】大問3

手元に濃度 92 % の消毒液 A が 900 g ある。A は、濃度 80 % でウイルス B に効力があるとされる。次の問いに答えよ。

- (1) A に水を適量加えて濃度を 80 % にするとき、必要な水の量は g である。
- (2) その後の調査で A の濃度が 70 % でもウイルス B に効力があることが分かった。(1) で作った 80 % 溶液に、新たに購入した濃度 65 % の消毒液 A を g 加えると、70 % の溶液が g できる。

4 【麻布大学 2022 年度 第Ⅱ期】大問4

1 辺の長さが 4 の正四面体 ABCD がある。辺 AB の中点を M とし、辺 BC を 3 : 1 に内分する点を N とする。次の問いに答えよ。

- (1) $DN = \sqrt{\text{}}$, $MN = \sqrt{\text{}}$ である。
- (2) $\angle DMN = \theta$ とおくと $\cos \theta = \frac{\sqrt{\text{}}}{\text{}}$ である。また、 $\triangle DMN$ の面積は $\frac{\text{}\sqrt{\text{}}}{\text{}}$ である。
- (3) $\triangle DMN$ を、直線 MN を軸として一回転させてできる立体の体積 $\frac{\text{}\sqrt{\text{}}}{\text{}}\pi$ である。
- (4) $\triangle BMN$ の面積を S_1 , 正四面体 ABCD に外接する球の表面積を S_2 としたとき、

$$\frac{S_2}{S_1} = \frac{\text{}\sqrt{\text{}}}{\text{}}\pi \text{ である。}$$

5 【麻布大学 2022 年度 第Ⅱ期】大問5

x, y の式

$$f(x, y) = 10x^2 - 28xy + 21y^2 - 12x + 16y + 6$$

について次の問いに答えよ。

- (1) $f(x, y)$ は

$$f(x, y) = \text{} \left(x - \frac{\text{}y + \text{}}{\text{}} \right)^2 + \frac{\text{}}{\text{}} \left(y - \frac{\text{}}{\text{}} \right)^2 + \frac{\text{}}{\text{}}$$

と変形できる。

- (2) x, y がそれぞれ $0 \leq x \leq 1$, $0 \leq y \leq 1$ の範囲を動くとする。 $f(x, y)$ は、 $x = \text{}$, $y = \frac{\text{}}{\text{}}$ のとき

最小値 $\frac{\text{}}{\text{}}$ をとり、 $x = \text{}$, $y = \text{}$ のとき最大値 $\text{}$ をとる。